

浜田市議会石見神楽振興議員連盟からの主な意見について

現在、浜田市と浜田市議会石見神楽振興議員連盟は、石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会の進め方や会議結果の報告など、随時意見交換を行いながら、石見神楽の保存・伝承に向けた取組を進めています。

この過程の中で、浜田市議会石見神楽振興議員連盟の皆さんから頂いた意見について、ご参考までにお知らせします。

主な意見

- ・ 検討委員会以外の方の意見について、ある程度基本構想が出来てからではなく、出来るまでの過程において広く市民の声を拾う必要があるのではないか。
- ・ 施設が整備された際に、施設の運営や活用は今の若い世代が担っていくこととなるため、そういった世代の意見も聞くべきである。
- ・ 昨年度の提言の中に各社中の経営状況、持続可能性については指摘があったが、花を打つということが文化として薄くなっている中で稼ぎをどう作るかということは保存・伝承に大きく関わり、その中で観光客というのは一つのターゲットになる。
- ・ 3月に市長が構想を出されたときに、参考とされる施設として、境港市の水木しげるロード、水木しげる記念館を挙げていた。そういったところの財務状況や、稼げる機能がどう実装されているのかというのは大いに参考にするべき。
- ・ 施設という議論をするということで検討委員会が始まる中で、施設をどうやって続けていくか、マネジメントしていくかという視点は必ず持つべき。最初から、赤字を前提にするのではなく、どうやって続けていけるかという視点、続けていくにはどういう仕組みが必要なのかという視点で議論を行わなければならない。
- ・ 石見神楽ならではの施設を観客目線で検討してほしい。観る側の意見についてヒアリング等を検討してほしい。
- ・ 石見神楽を創り出したまち浜田ということで、拠点については浜田に行けば石見神楽が全部分かるというような中心的なものとする必要がある。
- ・ ものづくり技術について、地域の産業背景があって発展してきたというような歴史的な流れも展示をすべき。
- ・ 石見神楽を近い距離で「体験」できる施設とするべき。